

乙 第 号

奥田 真義 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

報告番号	乙 第 号	氏 名	奥田 真義
論文審査担当者	委員長	教 授	今村 知明
	副委員長	教 授	浅田 秀夫
	委 員	准教授	赤羽 学
	委 員	准教授	面川 庄平
	委 員 (指導教員)	教 授	田中 康仁

主論文

Validity and reliability of the Japanese Orthopaedic Association score
for osteoarthritic knees

(和訳)

変形性膝関節症患者に対する JOA スコアの妥当性と信頼性の検討

Masayoshi Okuda, Shohei Omokawa, Kohjiro Okahashi,

Manabu Akahane, Yasuhito Tanaka

Journal of Orthopaedic Science

2012年 8月 7日 (Epub ahead of print)

論文審査の要旨

本研究は、一次性変形性膝関節症患者に対する医療者側の評価法として整形外科領域で広く用いられてきた日整会 OA 膝判定基準(JOA)の妥当性と信頼性について調査したものである。

複数の評価法を用いて、一次性関節症を認めた 85 例で JOA の妥当性の検証をし、別の 32 例では JOA の信頼性について詳細に検討し、JOA が変形性膝関節症の評価法として有用であることを証明した。

申請者が示したごとく、いくつかの Limitation を有しているが、本評価法の妥当性は適切な手法によって検証されている。信頼性についても同様に適切に検証されている。特に、複数の評価者及び同一評価書による複数回の JOA 評価を行い、検者間および検者内信頼性も合わせて評価しており、研究デザインも十分考慮されている。JOA スコアは、本論文によって膝関節症に対する評価法として初めて国際的に認知されたといえる。

本研究は、本邦で広く用いられている変形性膝関節症の評価法である JOA の妥当性と信頼性を初めて検証したという点で、整形外科の臨床的に意義深い研究であるといえる。参考論文と合わせて、博士の学位に相当すると審査する。

参 考 論 文

1. 小児期の外傷で発生した関節内遊離体により膝の伸展制限をきたした一例
奥田真義、伊東勝也、藤谷良太郎、山藤 滋、川南芙美、田中康仁
中部整災誌 55:615-616, 2012
2. 足底腱膜炎に対する手術例の検討
川南芙美、伊東勝也、藤谷良太郎、奥田真義、山藤滋、田中康仁
中部整災誌 55:431-432, 2012
3. 遊離静脈皮弁を用いて指の血行再建と軟部組織再建を同時に行った1例
飯田昭夫、藤谷良太郎、奥田真義、山藤滋、面川庄平
整形外科 62:1180-1183, 2011
4. 距骨骨軟骨損傷に対する自家骨軟骨柱移植術の小経験
山藤滋、奥田真義、伊東勝也、飯田昭夫、藤谷良太郎、田中康仁
中部整災誌 54:515-516, 2011
5. 両側に発生した上腕骨滑車部離断性骨軟骨炎の1例
堀内隆史、面川庄平、藤谷良太郎、奥田真義
日本肘関節学会雑誌 17:101-104, 2010
6. ロッククライミング中に生じた深指屈筋腱皮下断裂の1例
堀内隆史、面川庄平、藤谷良太郎、奥田真義、飯田昭夫
整形外科 61:1397-1399, 2010
7. 変形性膝関節症患者に対する保存療法の比較～患者立脚型を含む複数の評価法から～
奥田真義、面川庄平、岡橋孝治郎、藤谷良太郎、飯田昭夫、堀内隆史
JOSKAS 35:142-143, 2010

8. 神経内ガングリオンによる足根管症候群の2例
奥田真義、田中康仁、面川庄平、高岡孝典、藤谷良太郎
日足外会誌 31:58-62, 2010
9. 中手骨頸部骨折に対する治療—髓内釘とプレート固定術の比較—
藤谷良太郎、面川庄平、飯田昭夫、土肥義浩、大川卓海、奥田真義
整形・災害外科 53:391-396, 2010
10. 手指の指節間関節陥没型骨折に対する観血的整復固定術
飯田昭夫、面川庄平、藤谷良太郎、奥田真義、堀内隆史
骨折 31:469-472, 2009
11. 閉鎖性大腿骨骨折に大腿動脈損傷を合併した2例
飯田昭夫、面川庄平、藤谷良太郎、奥田真義、稲田有史、川西弘一
整形外科 60:1176-1179, 2009
12. 尺骨鉤状突起骨折の治療—2つの骨折型分類のからの検討—
内原好信、面川庄平、奥田真義
関節外科 28:97-103, 2009
13. 尺骨鉤状突起骨折の骨折型分類の検討
内原好信、奥田真義、面川庄平、藤谷良太郎、三浦修一
日本肘関節学会雑誌 15:52-54, 2008
14. Os peroneum 障害による長費骨筋腱断裂に対し腱以降術を施行した1例
高岡孝典、奥田真義、面川庄平、田中康仁、熊井司、高倉義典
日足外会誌 29:118-122, 2008
15. シリコン製舟状骨の破砕脱転による SLAC wrist の2例
藤谷良太郎、面川庄平、大川卓海、奥田真義、金子康司
中部整災誌 51:307-308, 2008

16. 尺骨鉤状突起の治療経験
奥田真義、面川庄平、藤谷良太郎、金子康司、大川卓海
整形外科 59:115-120, 2008
17. 剥離骨折を伴った背側踵立方靭帯損傷についての検討
奥田真義、面川庄平、高岡孝典、熊井司、田中康仁、高倉義典
日足外会誌 29:36-41, 2008
18. 手術的治療を行った橈骨頭骨折の合併損傷
藤谷良太郎、面川庄平、奥田真義、大川卓海、小野浩史
日本肘関節学会雑誌 14:204-206, 2007
19. 足根管近傍の腫瘍を疑った静脈瘤の1例
奥田真義、田中康仁、面川庄平、金子康司、藤谷良太郎、大川卓海
中部整災誌 50:1103-1104, 2007
20. 脛骨顆部骨折の予後評価～患者立脚型評価基準を用いて～
奥田真義、面川庄平、金子康司、藤谷良太郎、岡橋孝治郎、藤澤義之
膝 32:111-114, 2007
21. ハムストリング腱は再生するのか～組織学的評価～
奥田真義、岡橋孝治郎、杉本和也、岩井誠、大島学、三馬正幸、
藤澤義之
膝 31:93-96, 2006
22. 小児足関節外果裂離骨折後に偽関節手術を必要とした1例
奥田真義、高岡孝典、熊井司、田中康仁、高倉義典
整形外科 57:805-809, 2006
23. 変形性足関節症に対する足関節固定術での一工夫
奥田真義、佐本憲宏、北田力、田中康仁、高倉義典
整形外科 57:585-590, 2006

24. 当センターでの外傷性股関節脱臼骨折の予後調査
奥田真義、岡橋孝治郎
中部整災誌 49:247-248, 2006
25. 注腸用チューブを用いることにより良好に創部管理ができた臀部を含む広範
困熱傷の1例
瓜園泰之、内原好信、諸岡威、熊取谷知征、豊川泰勲、奥田真義、
城戸顕、今西正巳、星田徹、榎本美生、石川伸宜、福本隆也
奈良県立奈良病院医学雑誌 9:69-72, 2005
26. 超音波を用いた関節軟骨定量評価
～膝関節離断性骨軟骨炎の病巣部評価および治療効果判定～
奥田真義、服部耕治、石村雅男、藤間保晶、幅田孝
中部整災誌 47:47-48, 2004
27. 足部筋肉内血管腫の治療経験
奥田真義、高岡孝典、面川庄平、門田哲也、田中康仁、高倉義典
整形外科 54:689-693, 2003
28. NODE アンカーリングシステムを用いた中足骨骨折の治療経験
高岡孝典、竹島俊近、重松浩司、奥田真義、面川庄平、鈴木順三、
田中康仁、高倉義典
日足外会誌 24:40-44, 2003
29. 両下肢に発生した腫瘍型筋サルコイドーシスの2例
奥田真義、石村雅男、船内正恒、藤間保晶、福居顕宏
中部整災誌 46:413-414, 2003
30. 手指複合組織損傷後の末節部偽関節に対する Low Profile Plate の有用性に
ついて
重松浩司、面川庄平、高岡孝典、奥田真義、稲田有史
日手会誌 18:692-696, 2002

31. Plate と創外固定法を併用した粉碎型 Rolando 骨折の 2 例
重松浩司、面川庄平、高岡孝典、奥田真義、稲田有史
中部整災誌 44:647-648, 2001
32. 鎖骨骨幹部骨折に対するプレート固定による治療経験
奥田真義、面川庄平、高岡孝典、鈴木順三、重松浩司
中部整災誌 44:287-288, 2001

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに運動器再建医学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

平成 24 年 11 月 13 日

学位審査委員長

健康政策医学

教授 今村 知明

学位審査副委員長

皮膚病態医学

教授 浅田 秀夫

学位審査委員

健康政策医学

准教授 赤羽 学

学位審査委員

運動器再建医学

准教授 面川 庄平

学位審査委員（指導教員）

運動器再建医学

教授 田中 康仁